園長と語ろう

― 自分で決めたからこそ ―

園長　家田　美里

十月になりました。本日から来年度の願書受付が始まります。大人はソワソワしていますが、子ども達はいつも通り目一杯遊んでいます。

さて、二学期は行事が盛り沢山。いも掘りにうんどうかい・むらさきまつりやもちつき、成道会などなど、毎月何かはあるので子ども達も大忙しです。先日も身体測定がありました。今回はだいだいのくみとしろのくみのペア、もものくみとれもんのくみのペアで計測を行います。その前に自分達でペアを決めました。私が覗きに行ったのはだいだいのくみとしろのくみのペア決めです。だいだいのくみが十七名、しろのくみが十四名なので、年長二名・年少一名のチームが三組できます。そこに本日の欠席児もいて、なかなか考えなければならないのでは？と思いながらしろのくみへ行きました。既に二・三組のペアができていました。年長児にとっては、今までお兄ちゃん・お姉ちゃんが誘いにきてくれていたので、自分達が誘ってペアになるという難しさ。年少児と同じ高さまで膝を曲げ「いっしょにいーこう」と優しい口調で誘っていました。いつもはワァーワァー・キャーキャー騒いでいるだいだいのくみの子ども達が、あんなに優しく誘うなんて…とその姿に少し感動しました。そこで「いいよ」となればペアの決定です。しかし、しろのくみの子ども達にとっては初めてのペア決め。緊張はＭＡＸ。担任からなかなか離れられず首を横に振る人ばかり。それでもめげずに何度も誘うだいだいのくみの子ども達。〝何で断ってんの？折角誘ってくれているのに…〟とヤキモキしました。そしてとうとう私は見ているのが辛くなりしろのくみを出てしまいました。後で担任に聞いてみると欠席児も含めて数人は明日へ持ち越しになったという事でした。そんな人達も自分で声をかけ、自分で「いいよ」と言い無事に全員ペアになりました。

そして迎えた身体測定当日。欠席なし！全員決めたペアで職員室にやって来ました。よく見るとだいだいのくみの子がしろのくみの子の手を繋ぎ、先導して連れて来ています。しかし、そこはまだ五歳児。「はかるときはちいさいひとをさきにしてあげてね」と言ってみましたが、先に身長計に乗る人続出。しかし「お世話初心者🔰」という事でＯＫでした。無事に計測が終わり、気がつけば身体測定を嫌がっていた年少児も全員が計測できていました。実はしろのくみの一回目の身体測定は、何をするのかわからない緊張と遊びたい気持ちが大きくてなかなか測れませんでした。それが自分でつもりを持ち、お兄ちゃん・お姉ちゃんとなら嫌がる事もなく測れました。自分達でペアを決めたからこそお互い最後までつもりを持ってできたのです。私達がどれだけ言ってもなかなかやってはくれません。帰る用意でもそうですが、友だちやお兄ちゃん・お姉ちゃんに言われた方が素直にできます。私達って!?と思いますが、これもむらさき幼稚園の生活だなと感じます。〝ペア決め〟なんて他の行事に比べると休んでもいいか！と思われがちですが、子ども達にとっては自分で決めて行動するという大きな成長のチャンスです。休んだ人は次の日に園に来て、既に決まっているペアに「いっしょにいこう」と誘うのは勇気がいる事です。子ども達は園で遊んでいるだけでなく日々沢山の山にぶつかり解決しています。ちなみに年中はもものくみ・れもんのくみで一人ずつのペアになって職員室に来ました。二クラスが混ざって進級したのですが、昨年同じクラスの人とのペアがある中、一度も同じクラスになった事のない人とペアになっている人達がいました。この半年の間に新しい友だちと出会い、新しい遊びが始まっているのだと思いました。又、このペアがきっかけで違う友だちと遊べるようになっています。今までできなかったけど職員室で遊べるようになり、園での遊び場所も広がった子もいました。小さなむらさき幼稚園の中でもまだ新しい出会いがあるのだなと感じた身体測定でした。